

● 町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会（第 5 回）でのご意見・ご要望【抜粋】

議 題：第 5 回 町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会

日 時：2014 年 11 月 7 日（金）18:30～21:30

場 所：町田リサイクル文化センター研修室

出席者：委 員／高橋会長、小林（静）副会長、大谷委員、彦根委員、歌代委員、
佐藤委員、太田委員、北原委員、福岡委員、篠島委員、
小林（哲）委員、守屋委員

アドバイザー／荒井 氏（公益社団法人 全国都市清掃会議）

事務局（町田市）／田後循環型施設建設担当部長、水島環境資源部次長、
守田循環型施設整備課長、山田資源循環課次長、
宇野 3 R 推進課長、窪倉 3 R 普及担当課長

コンサルタント（日建設計）／
高津主管、小平担当、西郷担当、今江担当、石川担当

傍聴者：3 名

【前回の振り返り】

議題 1：これまでに頂いたご意見・ご要望について

第 4 回連絡会（8 月 21 日開催）で頂いたご意見・ご要望について説明後、ご意見として「北側民有地の購入再検討」を頂きました。また、第 4 回連絡会で説明した「交通量調査の結果、施設周辺の渋滞の可能性は少ないこと」について、再確認しました。

**議題 2：町田リサイクル文化センター施設計画の考え方
（施設配置計画）（進入路と内部動線）**

施設の配置計画および進入路と内部動線について説明後、質疑応答を行いました。「コミュニティ施設」、「駐車場スペース」、「進入路について安全な動線の確保」等についてご協議頂きました。

またアドバイザーから、施設整備計画の検討の進め方について、他市事例（武蔵野市・今治市）をご紹介いただきました。この中で、「施設整備計画については、段階（ステップ）を追って進めるのが一般的であり、現段階で施設の詳細な規模や内容、駐車場の位置等を厳格に決定してしまうと、後の詳細設計の段階での制約を増やす結果となり、計画の自由度が無くなる可能性がある。現段階では、まず計画のアウトラインを決めることを優先してはどうか。」とご助言をいただきました。

【検討の進め方のイメージ】

現在のステップ⇒ 計画のアウトライン（基本的な考え方）をまとめる

次のステップ ⇒ アウトラインに沿って、みなさんの要望を具体化する

議題 3：類似施設の環境基準値の事例について

既存施設の自主規制値（住民協低値）及び他市事例をご紹介した後、質疑応答を行いました。「悪臭への不安と対策」、「排ガス処理方法について知りたい」等、ご意見を頂きました。

ご要望・ご意見への回答（保留事項の回答を含む）

第5回連絡会 議題1：これまでに頂いたご意見・ご要望について（資料1）

意見・要望	<p>北側民有地の購入の可能性について</p> <p>相続のタイミングなど所有者からの持ち掛けを待たずに、市として前向きな働きかけをするようお願いしたい。</p>
回答	<p>土地所有者の意思を尊重</p> <p>市として、もう少し積極的に協議する必要があることを承知しておりますが、土地所有者の意思が尊重されるものと考えております。</p>

第5回連絡会 議題2：町田リサイクル文化センター施設計画の考え方（施設配置計画）（進入路と内部動線）（資料2-1、資料2-2、資料2-3）

意見・要望	<p>施設や駐車場の地下化、コミュニティ施設の拡充について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場不足を解消するため、新管理棟の地下を利用できないか。 ・ 新管理棟のすぐ隣に、不燃粗大処理施設があるのは景観等の観点から望ましくない。施設全体を地下化して、目立たなくすることはできないか。 ・ 新管理棟を3階建にするなど、もう少し上部や地下を利用して利便性を向上するなどの方法を検討してほしい。
回答	<p>地下化に関する施工上、防災上の課題</p> <p>以下のことから、現在の計画より地下化することは難しい状況です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 現計画でも掘削土量が、約26万m³（推定）と膨大な量になります。 ② 集中豪雨による地下部分の浸水が懸念され、安定操業及び施設の機能の維持に影響する可能性があります。 <p>新管理棟（コミュニティ施設）の拡充の可能性</p> <p>コミュニティ施設の拡充に伴い新管理棟の階数を増やすことについては、今後、みなさんの要望を伺いながら検討をしてまいります。敷地には都市計画で、高さの制限（31m）が規定されているため、階数の規模は5～6階くらいまでが限度となります。</p>

意見・要望	<p>コミュニティ施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源循環型施設の周囲に温浴施設やスポーツ施設など様々な施設を整備して、総合的に利用できるようにしてほしい。提示案では、様々な要望が新管理棟に圧縮されてしまっているように感じられる。 ・ 施設整備と周辺整備（まちづくり）が同時並行で進んでいることを実感できるように検討をお願いしたい。 ・ コミュニティ施設の規模に対して、駐車場が少ないのではないか。 ・ 新管理棟の西側の緑地帯をつぶして、コミュニティ施設を拡充するための用地とすることはできないか。 ・ 新管理棟では、一般利用者と職員を分離する必要があるのではないか。 <p>施設の整備計画の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の要望は、市が事業者に対し要求水準書（発注仕様書）を提示するより前に盛り込まなければならないと考えている。 ・ 要求水準書（発注仕様書）の提示までにあまり時間が無く、住民の意見が十分に反映されるのか疑問である。
回答	<p>現在は計画のアウトラインを決める段階です。今後、みなさんの要望を伺いながら、「町田市資源循環型施設整備基本計画」とも擦り合わせ、具体化していきます。現段階では、基本的な考え方をまとめる段階であり、プランが確定するわけではないことをご理解ください。</p>

	<p>駐車場台数</p> <p>現在の駐車場台数は一般用と事務所用をあわせて約100台分（うち4台大型バス用）です。</p> <p>新施設では、社会福祉法人等の施設や、スポーツ団体の活動拠点が移転することもあり、現在よりも必要駐車台数が減ることが想定されますが、施設の利便性を損なわないよう、最大限の駐車場を確保したいと考えています。</p>
--	--

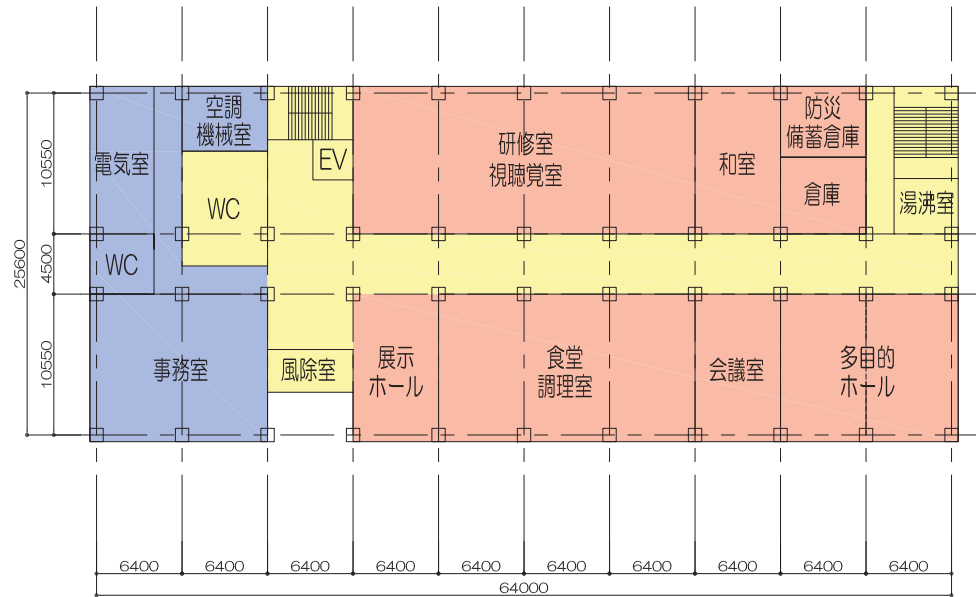
第5回連絡会 議題3：類似施設の環境基準値の事例について

意見 ・ 要望	<p>排ガスの自主規制値等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新施設の排ガスの自主規制値について、後追いで排出濃度を厳しく設定し直したり、設備を増強したりすることは難しいので、現時点で出来る限り厳しい値で設定してほしい。 ・現施設は地元協定値よりも低い値で稼働できているようだが、現施設で協定値を下げることはできないのか。 ・臭気のみやすの解説資料は、見やすく、わかりやすく大きな文字に修正して再提示してほしい。
回答	↓
	<p>新施設の自主規制値</p> <p>「町田市資源循環型施設整備基本計画」では、他市事例及び排ガス処理施設の技術動向を考慮しながら、近隣他市と比較してもトップレベルの厳しい排ガスの自主規制値を設定しており、この値を新施設の基準と考えています。</p> <p>既存施設の自主規制値の低減</p> <p>既存施設で、先進施設並みの基準を確実にクリアするためには、炉の大規模な改修が必要です。炉の大規模改修は、施設の運転への制約を伴い、またコストの負荷も大きいため、協定値を下げることは難しい状況です。現段階でできる最大限の対応として、先進施設並みの基準に近づけるよう既存施設の運転に留意して参ります。</p>

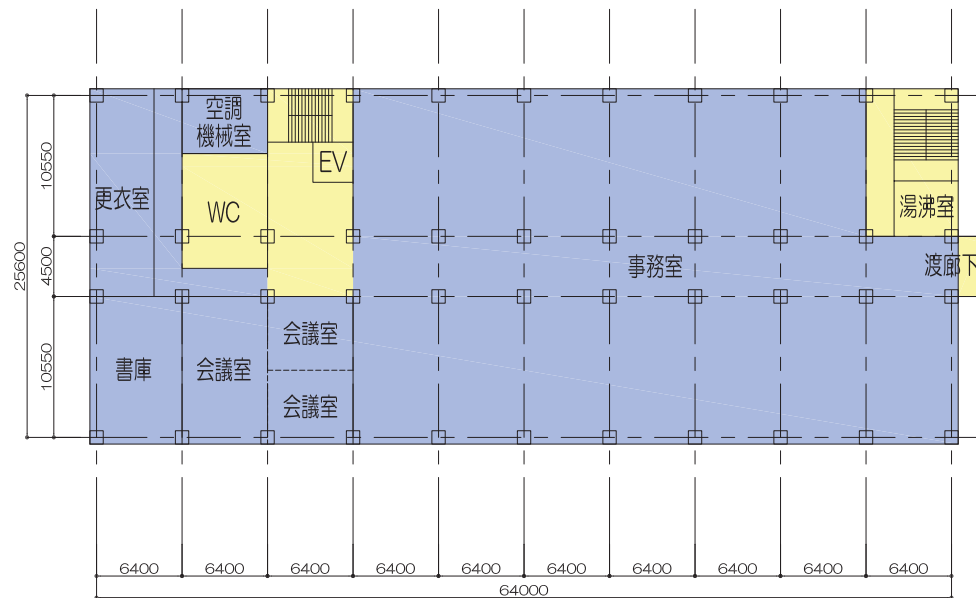
第5回連絡会 議題4：今後の進め方（案）

地区連絡会及び勉強における今後の協議事項について（資料4）

意見 ・ 要望	<p>先進事例</p> <p>排ガス処理方法等、先進施設の事例について知りたい。</p>
回答	↓
	<p>本日、第6回地区連絡会で事例をご紹介します。</p>



1階平面図



2階平面図

※ 平均地盤面はTP+117mを想定。
 ※ 本計画案は、検討段階であり、今後の協議により変更となる可能性がある。

参考

キープラン (建物全体を把握するため、縮小しています)	S=1/400 (新管理棟各階平面図と同縮尺)
<p>町田市役所2階平面図 (縮小版)</p>	<p>市民協働おうえんルーム：約210㎡</p>
<p>既存管理棟2階平面図 (縮小版)</p>	<p>研修室：約200㎡</p> <p>和室6畳：9.72㎡</p>

凡例

- 市民・見学者利用部門
- 管理部門
- 共用部



新管理棟内のコミュニティ施設のイメージ

<p>参考イメージ写真 (広さの参考事例として、町田市内公共施設等から同機能同規模の事例を掲載しています。)</p>						
新施設(案)	階数	1階	1階	1階	1階	共通
	室名	研修室・視聴覚室	和室	防災備蓄倉庫	倉庫	廊下の有効幅員
	面積	約270㎡	約65㎡	約32.5㎡	約32.5㎡	約4m
	利用人数の目安	約130~160人 (写真のような講義形式で机・椅子を配置した場合)	約30人 (収納、下足入れ等を除き、約20畳を確保する場合)	—	—	※有効幅員とは、柱型の凹凸を考慮した、最も狭い場所の寸法のこと
現在の施設	階数	2階	2階	—	—	共通
	室名	研修室	和室	なし	コミュニティ施設専用は、なし	廊下の有効幅員
	面積	約201㎡	約32㎡(12畳+収納)	なし	コミュニティ施設専用は、なし	約2.5m
<p>新施設での利用のイメージ</p>		<ul style="list-style-type: none"> 工場見学者等への映像を用いた講義 映像や音響設備を利用した市民活動 災害時には被災者受け入れ等も可。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設に関する説明会・意見交換会 環境に関する市民のサークル活動や、自治会等の集まり 災害時には、災害時医療支援場所として開放することを想定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品、水、食料、衛生用品等を備蓄し、帰宅困難者の一時避難や、軽度の負傷者の救護活動に利用する。 必要品目や数量は、災害時に連携して活動する事も想定し、近隣自治会等とも協議して決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習・ごみ減量啓発活動に必要な備品等を保管するために使用する。 必要品目や数量は、市民とも協議して決定する。 災害時の救援活動に利用できる備品等を提供することを想定する。 	

<p>参考イメージ写真 (広さの参考事例として、町田市内公共施設等から同機能同規模の事例を掲載しています。)</p>						
新施設(案)	階数	1階	1階	1階	1階	1階
	室名	展示ホール	壁面ギャラリー (廊下を利用した展示)	食堂・調理室	会議室	多目的ホール
	面積	約70㎡	全長約40m	約195㎡	合計約65㎡ 約65㎡×1室	約130㎡
	利用人数の目安	—	—	約60人 (食堂約100㎡+調理室約95㎡を想定した場合)	25~32人での利用(写真) 若しくは、 約30㎡×2室 12~15人での利用を想定	約65~80人 (写真のような講義形式で机・椅子を配置した場合)
現在の施設	階数	2階	2階	3階	2階	—
	室名	PRホール (工場見学エントランス部分)	壁面ギャラリー (廊下を利用した展示)	調理室	会議室(2室)	なし
	面積	約168㎡	全長約40m	約42㎡	合計約76㎡	なし
<p>新施設での利用のイメージ</p>		<ul style="list-style-type: none"> 見学の導入部となる説明パネルを設置したり、展示等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習・ごみ減量啓発に関する子どもたちのポスターの展示等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 主に施設職員の休憩・食事スペースとして利用する他、エコクッキング等の実習を伴う環境学習活動に利用する。 災害時には、炊き出し等の活動を行うことも想定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設に関する説明会・意見交換会 サークル活動や、町内のちょっとした集まりにも気軽に利用しやすくするため、小規模(1室約30㎡程度)を複数整備することも想定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主に施設見学者への説明会場として利用する他、環境学習・ごみ減量啓発活動に関する発表会に使用する 災害時には、災害時医療支援場所として開放し、近隣の病院・診療所と連携し、負傷者の応急処置や、一時保護を行うことが考えられる。